

まちの話題

あなたの声や地域、職場での話題をお寄せください。
☆役場総務企画課まで（電話72・0331）

まちの青少年を見守る

青少年育成推進指導員を委嘱



今回が2度目の委嘱となる柴原さん

4月1日、青少年育成鳥取県民会議（八村輝夫会長）が設置する、日野町の青少年育成推進指導員として柴原保明さん（根雨）が委嘱され（任期＝平成20年3月31日まで）、4月23日、倉吉市で委嘱状交付式が開かれました。

青少年育成推進指導員は、青少年育成の関係団体や地域の皆さんと連携して青少年育成運動の普及徹底を図るとともに、助言や指導を行うことを目的に、県内のほとんどの市町村に設置されています。

根雨スポ少惜しくも準優勝

日野郡少年野球日野町大会

4月29日・30日の2日間、第30回日野郡少年野球日野町大会日野郡少年野球連盟ほか主催）が日野中学校グラウンドで開かれました。

大会には、郡内の5つの少年野球チームが出場、トーナメント戦を行いました。

日野町からは根雨スポーツ少年団が出場し、初戦の石見スポーツ少年団との試合では4対0で圧勝、決勝戦に出場しました。

決勝戦では日南リトルヤンキースと対戦、初回に先制点を取られ押され気味でしたが途中挽回し、接戦を繰り広げましたが3対4で惜しくも敗れ準優勝となりました。



6年生のいないチームで健闘した根雨スポーツ少年団



自然そのままの登山道が人気



公園内はさながらツツジの迷宮に

まちの行楽シーズンの目玉

滝山公園つつじまつり

ツツジの名所として有名な滝山公園（中菅）で、恒例のつつじまつりが4月14日から5月6日まで開かれました。

公園内では約3万本のミツバツツジが満開、山肌をピンク色に染め上げ、約100本の八重桜との競演も見どころとなりました。

また、期間中には町営バスを臨時運行したほか、公園の売店や露店も開店し、町内をはじめ、県内外からの多くの行楽客でにぎわいました。

山の安全を祈願

宝仏山登山道開き

まちの最高峰、宝仏山（標高1000.5m）の登山道開きが、4月29日、歴史民俗資料館（根雨）横の登山道入口で開かれました。

山登りに最適な快晴の澄み渡る空の中で行われた式典には、景山町長はじめ観光協会などの関係者らも出席、山の安全を願って神職による祈願などが行われました。

式典の後、県内外から集まった登山客らは、新緑の中、それぞれのペースで頂上を目指しました。

3551万円を町に寄付

金持神社札所収益金贈呈

昨年4月から町観光協会が運営している金持神社札所の収益金約381万円のうち、30万円を神社氏子会に、約3551万円が町に寄付されることになり、5月2日、役場町長室で贈呈式が開かれました。

贈呈式では、観光協会の富谷進会長が、昨年4月から創意工夫をしながら一致団結、汗をかいて収益を生むことができました。まちの財政再建に向けて協力したい」とあいさつし、景山町長に収益金を贈りました。



贈られた収益金は観光振興のために使われます

ガイナレ選手がやってきた

ガイナレ鳥取「復活」公園遊び



ガイナレの選手も混じってボール送り

「リーグ入りを目指し活躍しているサッカーチーム「ガイナレ鳥取」の選手4人が、5月1日、根雨小学校を訪れ、少年サッカーチーム「根雨SC」と交流しました。

これは、ガイナレ鳥取が「復活！公園遊び」として各地で行っている事業で、今回は三好毅典選手、浜田正人選手、下松裕選手、小林崇法選手が来町し、サッカーボールを使った遊びやリレー、ミニゲームなどを楽しみました。参加した子どもらは、初めてで緊張したけど面白い。またやってみたい」など楽しんでいました。

ひの奥渡会花見懇親会を開催

関西地区の奥渡地区出身者で結成された「ひの奥渡会」の花見懇親会が開かれた様子を、会員の木山久嘉さん（兵庫県三田市）からお便りいただきました。

桜花らんまんの晴天下、4月8日に大阪城公園内で恒例の花見懇親会を開きました。

ひの奥渡会を結成して35回目の集いとなる今回は総勢33人が集い、各家庭の手づくり料理の競演、お好みの飲み物で宴を盛り上げました。私たち会員も高齢化を感じるこのごろですが、このたびは小さなお子さんも5人参加し大人気でした。また、日野町長と総合事務所の山根副主幹が、公私とも忙しい中を遠路はるばる長距離バスではせ参じていただき、遠藤宮紀さんには道案内をいただきました。

ひの郷会会長も日ごろの多忙な体で参加いただき、宴会を盛り上げていただきました。遠くは岡山県倉敷市から新幹線で、三重県名張市から車で親子三代連れて参加いただき、花見の場を一層楽しくしてくれました。

料理ではたけのこ、わさびに人気があり、「これが懐かしい田舎料理」と満喫、昔の思い出料理を再確認しました。

今回、いろいろな団体の方に懇親会に参加いただいたことは、私も会員に追い風をいただいた思いです。がんばってより楽しい会にしたいと感じ、また、思い出っばいの日野町のがんばりを期待したいと話し合い、日が傾くころ散会しました。

木山 久嘉

